

桑の木の活動

9月、父子合宿を行い4家族が参加して頂きました。親子合宿では抱っこされていた距離が長かったお子さんが、歩ける距離が延び山を散策するなどの成長が見られた合宿でした。普段お子さんとなかなか過ごせないお父さんもいらっしや、一日ゆっくり関わることができ有意義な時間を過ごせたと感想を頂きました。10月、ハロウィン電車に乗ったり、秋を見つけに散歩に出かけたり、フレッセイに買い物に行ったりしました。お母さんから頼まれた野菜や果物の名前を口ずさみながらお買い物に行きました。「ピーマン、ジュース」「にんじん、きゅうり」などを買ってきました。「買い物楽しかった。」と子ども達は笑顔でお母さんに報告していました。また、運動会を行いました。今年は桑の木で行なっている粗大運動を一人一人発表しました。普段と違う雰囲気の中でいつもより時間がかかってしまった子や上手くいった子などみんな一生懸命行うことが出来ました。ダンスはみんなで楽しく「どんぐりマン」を踊りました。寒くなってきたので、帽子やてぶくろをして元気に冬の散歩に出かけましょう。



父子合宿



発達相談室

行事やイベントたくさん楽しみました。

糸車の活動

糸車では歩行力を育てるため3km・5kmを歩いています。1km15分で歩くことを目標に歩いています。3kmは糸車から前橋駅の往復を、5kmは糸車から県庁前・るなばあく・元気ぷらざ21を通過して戻ってくるコースを歩いています。歩道を歩くだけでなく、歩道橋を渡る・坂道の上下りなども取り入れています。

歩きながら交通ルールやどんなお店があるかなどを話しています。例えば交通ルールでは信号の色の意味や左右の確認、車道から離れて歩くなどを話します。売っているものや看板・装飾などをヒントにしてどんなお店かを考えています。「信号青だよ。」「車来ないからみんな渡っていいよ。」と友だちに教えてくれる子もいます。

寒くなって行きますが寒さに負けず歩いて行きたいと思います。

年末・学期末に向けて行事が多くなっていきますが体調に気をつけて、たくさんの参加をお待ちしています。

いっぱい歩いて足腰を強くしました。



冬休みも終わりましたが、どのご家庭も、年末年始は慌ただしかったのではないのでしょうか。今回は、余暇支援として移動支援の内容をお知らせしました。今回は、日中一時支援事業(日帰りショート)と、サービスステーション事業をご紹介します。

日帰りショートは、前橋市が委託している施設で、昼間に一時的にお子さんを預かり、介護・見守り・日中活動の提供を行う事業です。在宅の方が対象で、前橋市障害福祉課にて手続きが必要になります。利用が決定されると「障害者福祉受給者証」(黄色)が発行されます。自己負担金は、サービス費用の1割負担で、児童発達や放課後等デイサービスと同じように負担上限月額が設定されています。1ヶ月の支給利用日数が個人ごとに決まっています。

サービスステーション事業は、障がい者が暮らす家庭の方が何らかの事情で介護が出来ない時、前橋市が委託しているステーション内にて、介護が受けられるサービスです。利用希望の方は、市町村の障害福祉課で手続きを行い、事業者と面接をします。利用が決定されると「利用決定通知書」が発行されます。サービス費用は、1時間当り400円(前橋の場合)で、負担上限額はありませぬ。必要なサービスがありましたら、手続きのお手伝いをさせていただきます。よろしくお願いいたします。

ぱれっとでカラオケにきました。たくさん歌ってカロリー消費したよ。

2学期は、行事やイベントの多い季節でした。10月ぱれっとは毎年恒例の「ふれあい・ゆうあい交流フェスタ」に9名のメンバーで参加しました。大勢のお客さんの前で発表に、みんなドキドキ...！でもさすがはダンスが大好きな"ぱれっと"のみんなです。段々と表情もほぐれ、最後にはみんなで身体を大きく動かして踊ることが出来ました。踊った後には、お客さんのたくさんの拍手と笑顔と、「頑張ってたね」「良かったよ」のあたたかい言葉をもらって、みんなうれしそうに笑っていました。来年は、ピアノなどの楽器を使ってみんなで合奏をしたいと思っています。お客さんが笑顔になるような、素敵な発表になるように、またみんなでダンスの、そして楽器演奏の練習を頑張っていきます！これからどんどん寒くなりますが、風にも寒さにも負けないう、みんなで楽しく身体を動かしていきたいと思っています。



ぱれっとの活動

ヘルプ 24

いつもヘルプ24のご利用ありがとうございます。過ごしやすい季節になったので、移動支援を行っているグループは運動不足を解消する為、「行きか帰りどっちかを歩いて行こう！」と声をかけています。行きを歩いていくと、とてもペースが早く、みんな早く目的の事をしたいと、わくわくしながら行こうとしますが、帰り道を歩くときは同じ道なのに時間が掛かるので、遊びつかれたのかと聞いてみるともっと遊びたかったとの事。みんな一週間に1回の移動支援を楽しみにしているのだなと感じました。最近は男同士で遊びたい！！という意見があり、同年代の男子同士で集まり遊びに行きました。とても気があったのか、普段よりもたくさん話をしていて、笑い声が響く1日でした。遊び友達がたくさん増え、利用者さんの息抜きになるよう努めて行きたいと思っています。 ヘルプ24

